

新年のごあいさつ

平戸市長 黒田成彦

Naruhiko Kuroda



「多くの平戸ファンを増やし、自信と誇りに
つながるまちづくりを推進してまいります」

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。

さて昨年は、皆さまの総意をもって「平戸プライド元年」と位置づけながらさまざまな施策を積極的に推進してまいり、新平戸市制施行10周年の節目にふさわしい大きな飛躍の年となりました。中でもふるさと納税の寄付額が全国一位という画期的な成果をもたらしたことにより、国または他の自治体はもとより、各界の注視的となりましたが、本年度はその実績をさらに上回ることが確実な情勢となりつつあります。このことが地域の産業振興や雇用促進、経済活性化へとつながっており、全国に広く「元氣な平戸」を発信することができたものと自信を深めていますところでもあります。本年も、この実績を確かなものとして魅力あふれる「ふるさと平戸」に全力を尽くしてまいります。

また本年は、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録が確実視されていることに加え、秋には長崎県では初めての開催となる「センサシンポジウム」に、全

国からロボット工学や物理学などの権威ある学者や技術者が一同に会することや、全国高齢者福祉祭「ねんりんピック2016」のゲートボール競技の開催など全国から多くの来訪者をお招きすることが予定されています。

現在、人口減少を食い止めるため平戸市総合戦略を策定しておりますが、このような平戸市の持ついくつもの可能性に磨きをかけて全国的にも高い評価を受けながらその価値をさらに広げることによって多くの平戸ファンを増やし、平戸に生まれ、あるいは移り住んで生活することが自信と誇りにつながるようなまちづくりを推進してまいります。

そして今後とも「平戸市ずっと住みたいまち創出条例」の理念を具現化し、「本物の平戸は世代を超え世界を魅了する」という自信につながりながら、数々の課題にも対応できる自立した持続可能なまちづくりを市民の皆さまとともに励みたいと決意を新たにしております。

結びに、この一年が皆さまにとりまして、限りなくお幸せで明るく元氣な飛躍の年になりますことをお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。



成人式での華やかな晴れ姿



平戸城と初日の出





新年のごあいさつ

平戸市議会議長 **辻 賢治**
Kenji Tsuji

「全ての人々にとって魅力あるまちづくりを目指し、
議会の活性化に努めてまいります」

平成28年の新春を迎え、平戸市議会を代表いたしましたとして、謹んでごあいさつを申し上げます。市民の皆さまには、日頃から市議会活動に対し、深いご理解と温かいご支援をいただき、衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新「平戸市」となつて10年を迎える節目の年でありました。この間、議会では、合併後もなお厳しい財政状況を踏まえ、行財政改革について行政と議論する一方で、自らも議員定数の削減に取り組むとともに、「開かれた議会」を目指し、インターネット配信による議会中継を開始するなどしてきたところであります。

これまでの10年をしっかりと検証し、平戸市のさらなる発展に向け、今後も議員一同全力で取り組んでまいり所存であります。

今年「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けての正念場の年となります。5月ごろにイコモス勧告がなされ、7月に開催予定の世界遺産委員会で登録の可否が決定されることになっております。世界遺産登録により人類が後世へ伝えるべき資産として位置づけられることにより、その価値は一層大きなものになります。

また、世界遺産登録により国内は

もとより、世界中から多くの人々が訪れることが予想され、世界遺産登録が本市のさらなる活性化の契機となることも期待されるところであります。

一方、地方創生へ向けた人口減少対策が急務となる中、魅力あふれる産業の振興を促進するとともに、市民が安心して暮らし、次代を担う子どもたちを健やかに育成するため、市民、団体、事業者、行政が一体となり、将来の平戸市の定住人口の維持を目的とする「平戸市総合戦略」の策定が進められております。

このような中であつて私たち市議会議員は、「市民がずっと住みたいまちづくりの創出」を実現するため、「全ての人々にとって魅力あるまちづくり」を目指し、「議会の活性化」に努めてまいります。

今後とも市民に寄り添う議会を目指すとともに、議会の果たすべき役割を議員一人一人が重く認識し、自己研鑽に努めながら、平戸市発展に寄与してまいり所存でありますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この一年が市民の皆さまにとりまして幸多からんことを祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



新年のごあいさつ

長崎県議会議員 **西川 克己**
Katsumi Nishikawa

明けましておめでとうございます。輝かしい平成28年の新春を健やかに迎えにられましたこととお喜び申し上げます。

昨年4月に行われました県議会議員選挙におきまして、3度目の当選を無投票で果たすことができました。また、当初の議会においても環境生活委員会委員長に選出され現在活動しているところであります。これもひとえに皆さまの強力なご支援の賜物と深く感謝いたします。

さて、人口減少や少子高齢化の急速な進行、グローバル化の進展や地

球規模での環境問題の発生など、本県を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、28年度は新たな総合計画の初年度として「長崎県総合計画チャレンジ2020」が取りまとめられ、11月定例議会に上程されました。本計画では「人・産業・地域がたくましい長崎県づくり」の基本理念の下、既存事業を大幅に見直しつつ、他県や市町との連携を図りながら、新たな視点や発想を積極的に取り入れた施策を着実に前進や具体的成果に結びつけるよう全力を傾注することとあります。その一つ一つを徹底的に精査し県当局と協議し、長崎県の発展のために頑張つてまいり所存です。

また9月定例議会の一般質問において「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」や「アジアとの交流促進」「農林水産業の振興」など7項目について県当局の見解を問いました。今後も「西九州自動車道の早期完成」「農林水産業および観光の振興」など本市の懸案事項について連携を図りながら「平戸市」の声を県政に届け、平戸市振興のため頑張つてまいります。

結びに平戸市のさらなる繁栄と市民の皆さまにとって良い年でありますよう心から祈念申し上げます。



新年のごあいさつ

平戸市教育長 **小川 茂敏**
Shigetoshi Ogawa

明けましておめでとうございます。皆さまには平成28年の新春をつつがなく迎えにられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年8月には、待望久しかった図書館が公民館と一体となった「平戸市未来創造館」として、景勝の地亀岡に完成しました。訪れた誰もが平戸瀬戸の景観と一体となった学びの館に感嘆し、学習意欲をかきたてられています。これからは図書館の資料を利用される人のお手伝いをするレファレンスサービスや配本サービスの充実など、市民の皆さまの利用

しやすい図書館づくりにさらに取り組んでまいり所存であります。

さて、わが平戸市は、ふるさと納税日本一の達成や、世界遺産登録の本年認定が現実味を帯びるなど、全国的にも注目を浴びています。しかし、一方では高齢化と人口減少という厳しい現実が直面しています。高齢化社会への対策は、福祉の充実は無論のこと、健康で生きがいあふれる老後の生活を築くことにあります。

また、教育長を拝命して子どもたちの主張や音楽会、スポーツ交流などの大会で子どもたちに触れる機会を得、その度に胸を熱くし大いなる将来に思いをはせているところでもあります。その一方、支援を必要とする子どもたちがいることを感じる日々でもあります。時代の大きな変化の中、たくましく生き抜く力を育てなければならぬと、決意を新たにしております。

新しい年が爽り多い年となりますようお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。



消防出初式での一斉放水

